

大阪中之島美術館 関西・大阪21世紀協会 共催事業

関西ゆかりの若手アーティストを中心に紹介する展覧会

おおさか ディレクトリ
「Osaka Directory」開催決定！

大阪中之島美術館は、関西・大阪21世紀協会との共催により、本年8月から関西ゆかりの若手アーティストを紹介する企画「Osaka Directory」（おおさか・ディレクトリ）を開始します。

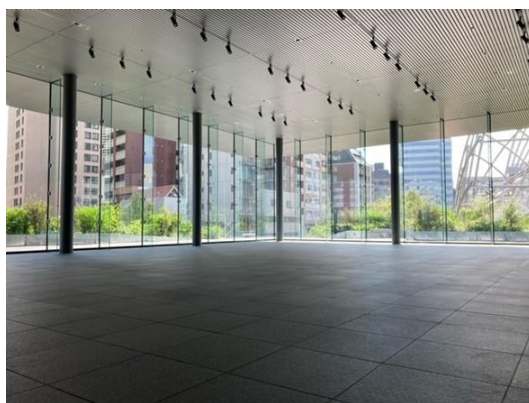
「Osaka Directory」は、将来活躍が期待される関西ゆかりの若手アーティストの発掘と、活躍の場の創造を目的とする個展形式の展覧会です。継続的に開催し、関西のアートシーンを盛り上げることを目標としています。また、大阪・関西の若手アーティストが世界に羽ばたくきっかけになればと考えています。

激しく移り変わる時代のなかで、これからを象徴する作家たちが生み出す、新たな表現を紹介していきます。どうぞ、ご期待ください。

2022年度は赤鹿麻耶（1985年、大阪府生まれ）、貴志真生也（1986年、大阪府生まれ）、遠藤薫（1989年、大阪府生まれ）の3名を紹介します。大阪出身の、新進気鋭のアーティストたちです。会場はいずれも大阪中之島美術館の2階「多目的スペース」です。各展覧会の詳細については、続報をお待ちください。



大阪中之島美術館 外観



展覧会場：2階多目的スペース

■ 「Osaka Directory」開催概要

第1期：赤鹿 麻耶

会期：2022年8月6日（土）～9月11日（日）

第2期：貴志 真生也

会期：2022年11月23日（水・祝）～12月25日（日）

第3期：遠藤 薫

会期：2023年1月20日（金）～2月26日（日）

【会場】 大阪中之島美術館 2階 多目的スペース

【主催】 大阪中之島美術館、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会【設立40周年記念事業】

【協賛】 サントリーホールディングス株式会社、ロート製薬株式会社、大和証券株式会社、
西日本電信電話株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社丹青社

【料金】 無料

【休場日】 月曜日（祝日は開場）

「おおさか ディレクトリOsaka Directory」とは

「Osaka Directory」（おおさか・ディレクトリ）は、大阪中之島美術館が関西・大阪21世紀協会と共同で主催する、関西ゆかりの若手作家を中心に個展形式で紹介する展覧会です。今年度を皮切りに、これからの時代を象徴する、新たな表現を生み出す作家を毎年紹介していきます。

※ディレクトリとは、IT用語でファイルデータを整理し分類するためのフォルダ等を意味します。

本シリーズを通して、将来活躍が期待される関西の若手アーティストファイルをディレクトリに格納していくように、ここ大阪中之島美術館から彼らの活動を広く世に紹介し、世界に羽ばたくことを支援していきます。

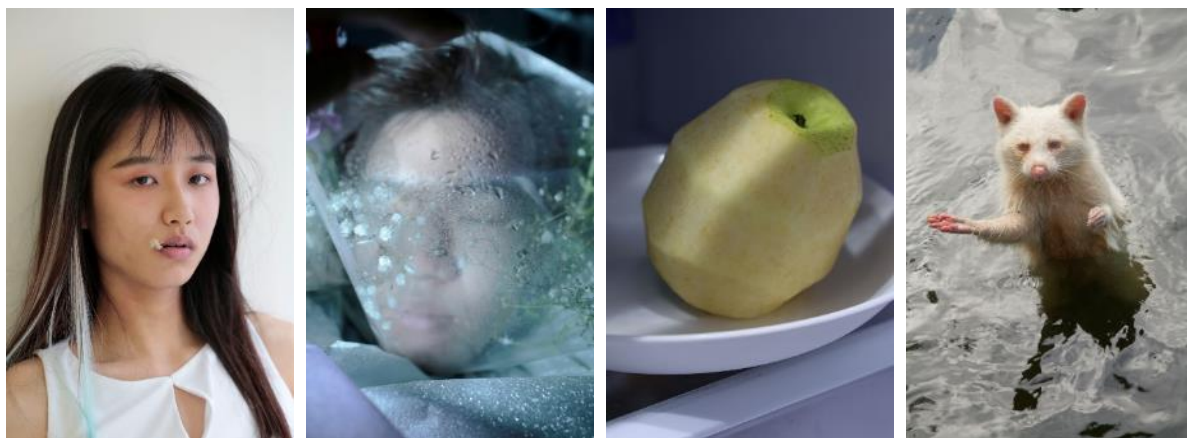
■ 作家紹介

赤鹿麻耶（あかしか・まや）



1985年、大阪府生まれ。2008年、関西大学卒業。10年、ビジュアルアーツ大阪写真学科卒業。11年、作品《風を食べる》で第34回写真新世紀グランプリ受賞。大阪を拠点に海外を含む各地で個展、グループ展を開催。夢について語られた言葉、写真、絵や音など多様なイメージを共感的に行き来しながら、現実とファンタジーが混交する独自の物語世界を紡ぐ。主な展覧会に「あしたのひかり 日本の新進作家 vol.17」（東京都写真美術館、東京、2020年）、「赤鹿麻耶写真展『ときめきのテレパシー』」（キャノンギャラリー、東京、2021年）などがある。

参考作品



（左から）《人間以外》2021年、《花に触れないでください》2020年、《見えてないとおもった？》2021年、《理解書店の店主 M》2017年

貴志真生也 (きし・まおや)



1986年、大阪府生まれ。2009年、京都市立芸術大学彫刻専攻卒業。看板、建物、社会といった、人によってつくられた環境をモチーフとし、その意味を問い直す作品を制作している。発砲スチロール、角材、ブルーシートなどの工業資材を見立てによって作品とする。素材は規格そのままに、作家の手の痕跡を残さないよう意識され、不要な意味を排除したシンプルな形態へと落とし込まれている。主な展覧会に、個展「リトルキャッスル」(児玉画廊、東京、2009年)、「バクロニム」(児玉画廊、東京、2010年)、「鼻向け」(Antenna Art Space、京都、2010年)、「またのぞき」(神戸アートビレッジセンター、兵庫、2014年)などがある。11年には、メゾン・エルメスのウィンドウディスプレイを手がけた。

参考作品



《ショーケース》2019年 展示風景
Courtesy of the artist and Kodama Gallery



「バクロニウム」2010年 展示風景
Courtesy of the artist and Kodama Gallery

遠藤薫 (えんどう・かおり)

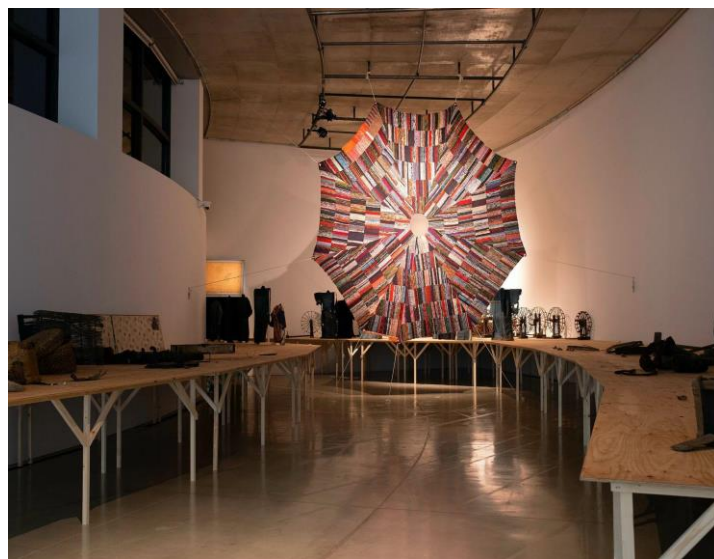


1989年、大阪府生まれ。2013年、沖縄県立芸術大学工芸専攻染織科卒業。16年、志村ふくみ（絨織、重要無形文化財保持者）主宰アルスシムラ卒業。沖縄や東北をはじめ国内外で、その地に根ざした工芸と歴史、生活と密接な関係にある政治の関係性を紐解き、主に染織技法を用いて、制作発表を続けている。主に雑巾や落下傘、船の帆などを制作し、「使う」ことで布の生と人々の生を自身の身体を用いてパフォーマンスにトレースし、工芸の本質を拡張することを制作の核とする。近年の主な展示に「第13回 shiseido art egg」（資生堂ギャラリー、東京、2019年）、「Welcome, Stranger, to this Place」（東京藝術大学大学美術館、東京、2021年）、「琉球の横顔 —描かれた『私』からの出発」（沖縄県立博物館・美術館、沖縄、2021年）など。「第13回 shiseido art egg」ではart egg大賞を受賞した。

参考作品



遠藤薫「重力と虹霓 Gravity and Rainbow」2019年 展示風景
撮影：加藤健、提供：資生堂ギャラリー（「第13回 shiseido art egg」）



遠藤薫「閃光と落下傘」2020年 展示風景
撮影：デルフィン・パロディ、提供：青森公立大学 国際芸術センター青森（ACAC）



遠藤薫『羊と眠る』2022年、羊皮・羊毛ほか

— 本件に関するお問い合わせ —

大阪中之島美術館 広報担当：平・山本・東森

TEL: 06-6479-0560 Email: pr@nakka-art.jp URL: <https://nakka-art.jp>

関西・大阪21世紀協会 文化事業部：田中（陽）・三木・石崎

TEL: 06-7507-2002 Email: event@osaka21.or.jp URL: <https://osaka21.or.jp>